

いばらきフラワーパーク様

エントランスに、屋外でも明るく見やすいLEDディスプレイを設置
大画面で離れた場所からも見やすく、四季折々の花やイベント情報を来園者に発信

お客様情報



石岡市 産業戦略部
商工観光課 主事
前沢 佑紀 氏



茨城県フラワーパーク
指定管理業務共同事業体
一般財団法人石岡市産業文化事業団
マーケティングチーム 広報
潮田 宏美 氏



所在地：茨城県石岡市下青柳200番地

事業概要：花と自然を五感で楽しむ施設の運営、体験プログラムの提供など。

URL：https://www.flowerpark.or.jp/

導入の映像デバイス

- 屋外用スクエア型ファインピッチLEDディスプレイ：LED-Q039e2
- デジタルサイネージ用メディアプレーヤー：MP-03



継ぎ目のないシームレスな大型マルチスクリーンを構成可能な屋外用LEDディスプレイ
高輝度、高コントラスト表示と、視野角の広さで、天気の良い日でも見やすい表示に

シンプルな映像システムを構築



事例のポイント

■ 課題背景

- ・ お客様を迎えるエントランスに、園内インフォメーションを表示してパークを活性化したい。
- ・ 屋外でも視認性の高いディスプレイを設置したい。
- ・ 屋外に設置するため、信頼性が高くメンテナンスしやすい製品を使用したい。

■ 成果

- ・ 高輝度、高画質の屋外用LEDディスプレイで、離れた場所からもよく見えることで、来園者へのおもてなし演出に。
- ・ 動画と写真を活用したコンテンツ制作により、園内の情報発信力が向上。
- ・ メディアプレーヤーに用意されているテンプレートを使って、スムーズにコンテンツを作成。季節の花やイベント情報、閉園時間など、リアルタイムに情報発信が行え、負担も少ないためスタッフに好評。

いばらきフラワーパーク様

離れた場所からもよく見える、明るく豊かな発色の大画面と、臨場感ある映像で園内の状況を伝える

導入の背景や課題

■ 来園されるお客様に、園内の「今」を伝えたい

1985年に開業し、彩りあふれる豊かな花が咲き乱れ、緑を楽しめるいばらきフラワーパーク。園内には900品種のバラが植えられているほか、紫陽花やダリアなど、一年を通じて季節ごとに多くの花が楽しめる施設です。オープンから30年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっておりましたが、2021年にリニューアルオープン。

現在は、株式会社パーク・コーポレーションを含む茨城県フラワーパーク指定管理業務共同事業体が指定管理者として施設運営を行っております。リニューアルに合わせて、いばらきフラワーパークでは、若い世代の来園者を増やすこと、リピーターを増やすこと、また滞在時間を伸ばすことを目標に、それまでの「花を見せる」という施設から、「感じる」フラワーパークへと変化を遂げました。

「それまでは園内の花を見ていただくだけでしたが、新しくレストランを作り、さまざまな体験ができる施設もオープンしました。レストランのランチも評判ですが、体験施設では、園内で摘んだ花で季節のブーケを作ったり、自分の好きな香りや花でアロマを作ったりして、園内だけでなく、ご帰宅後も楽しめる、体験プログラムを数多く用意して、リピーターの来園者にも何度も楽しんでいただける仕組みを作ってきました。

また、そのおかげで若い方の来園が非常に増えており、リピーターも増えてきています」（一般財団法人石岡市産業文化事業団 マーケティングチーム 広報 潮田 宏美氏）

リニューアル後、いばらきフラワーパークでは、園内の案内や見頃の花など、来園者への情報提供用に、エントランスのディスプレイ設置を計画しました。

「繁忙期はエントランスに入場の列が長くなることもあるので、そこでお待ちになっているお客様も含めて、入園しなくても利用できるマーケットカフェがあり、駐車場の一角で地元で採れた野菜の直販もしています。

そういった、園外からフラワーパークを楽しんでいたが、さらにPRができるようなものができればと考えました。」（潮田氏）

ディスプレイ設置の検討について、石岡市としての考え方がありました。

「石岡市には観光施設がいくつかありますが、いばらきフラワーパークは、石岡市としても核となる観光施設として位置付けています。ここが活性化することで、周辺の観光施設にもいい影響が出るというと考えておりました」（石岡市 産業戦略部 商工観光課 主事 前沢 佑紀氏）



新しく作られた施設では、園内の花を通じてさまざまなアクティビティが楽しめる

選択のポイント

■ エントランスでの情報発信用に、屋外でも視認性の高いLEDディスプレイを選択

そこでいばらきフラワーパークでは、機器の選定を開始。当初検討されたのは、タッチパネル式のディスプレイでした。

「石岡駅には、壁掛け式のタッチパネルが設置されており、いばらきフラワーパークでも同じようなものを設置して、お客様が園内の情報を自分で探せるようなものを最初は考えていました。しかしその後の検討で、今はスマートフォンをお持ちなので、来園される前にご自身で情報を検索されていることも多いので、同じような情報を提供するよりは、季節の花の映像を流して今の園内の様子をお知らせしたり、イベント情報を表示したりするなど、よりタイムリーな情報提供の方が良いと考えました。NECさんには液晶ディスプレイの他、LEDディスプレイも販売されていることで、より見やすい大型ディスプレイの提案をもらい、検討の方向性が変化しました」（潮田氏）

園内の情報を伝えるコンテンツを流したいということ、屋外への設置になることから耐久性とディス

プレイ性能の明るさが要求されること、より大型のディスプレイ設置になる条件から、LEDディスプレイのLED-Q039e2が候補となりました。

「屋外での視認性は重視しました。日光の影響を受けるので、日中でも映像が美しく見えることは重要でした。一般的な液晶ディスプレイに日よけのカバーを付ける方法もありますが、見づらいことも多いです。その点、LEDディスプレイは非常に明るく見やすく、映像が美しいなと思いました」（前沢氏）

また、500mm×500mmのLEDモジュールを自由に設置できる点も、高く評価されています。

「ユニット単位で設置するサイズや形を決められるのも、とても魅力的でした。設置場所に合わせて大きさや形が調整できるので、自由度が高くていいですね。また屋外に設置するので、風でなにかが飛ばされてきて、それがぶつかって映らなくなるということもないといえます。そうした場合にも、ユニット単位で修理や交換できるのもいいなと思います。NEC製品の信頼性や長期保証、充実したメンテ

ナンス体制の説明を受け、施設の顔として安心して運用できると考えました」（前沢氏）

最終的に、エントランスに12面が設置されました。メディアプレーヤー MP-03と組み合わせたシステムで、2024年の1月から運用がスタートしました。



屋外用LEDディスプレイの高輝度により、晴れた日でも明るく鮮やかな表示で、園内の魅力を伝える

導入後の成果

■ 来園者への情報発信力が向上。リアルタイムでの情報更新も可能に

LEDディスプレイの導入後、いばらきフラワーパークでは、さまざまな動画や写真を組み合わせたコンテンツをディスプレイに映しています。

「導入の際に立ち会いましたが、試験映像の鮮明さと視認性の高さに驚きました」（前沢氏）
コンテンツは、いばらきフラワーパークの運営スタッフが撮影した写真を自ら編集したものと、プロに依頼して撮影した動画などを組み合わせて使用しています。

「導入された直後が、ちょうど河津桜の季節だったので、ドローンで撮影した映像を流していたのですが、映像の素晴らしさもあって非常に反響がありました。エントランスから河津桜が咲いているエリアまでは少し距離があるのですが、こんなに素晴らしいなら歩いて見に行こうか、という方もいらっしゃいました。まさに映像ならではの伝える力を感じました」（潮田氏）

メディアプレーヤーに用意されているテンプレートを利用すれば、コンテンツ作成の操作が非常に簡単に行くと運営スタッフに好評です。

「自分たちが撮影した写真をすぐに使えるので、リアルタイムな情報提供ができ、しかもスタッフの負担が少ないので助かっています」（潮田氏）

「行われているイベント情報を発信するのはもちろんですが、ちょうど今、見ごろを迎えている花の映像を流して、来園者が見逃すことなくその季節の瞬間を楽しんでいただけるような情報発信をしていければと思います」（潮田氏）

今後も情報発信力を高めて、園内の魅力をどんどん伝えていきたいと、力強く潮田氏は話します。



季節によってはライトアップイベントを行い、エントランスから、美しい光と映像の空間演出で来園者をお迎え

お問い合わせは、下記へ

NEC スマートデバイス統括部
〒211-8666 神奈川県川崎市中原区下沼部1753
URL : https://jpn.nec.com/d_signage/

2025年2月現在